



「あずましい青森」にUターン



インタビュー

弘前学院聖愛高等学校

2年 奥寺 星那さん

奥寺さん
どうして札幌から青森に帰ってこようと思ったんですか？

奥寺さん
大学1年から「青森に戻ってくる」という気持ちは変わりませんでした。理由を一言で言うと、青森が「あずましい(心地よい)」からです。友達がいる、住み慣れている、自然が近い。札幌は魅力的な街でしたが、それでも揺るがなかったですね。



山口さん
高校生の頃と社会人で、考え方が変わったことはありますか？

奥寺さん
責任感ですね。社会人になると、自分の行動が仕事やお客様に直結します。ただ、迷ったときは高校時代に教わったことを思い出します。高校の3年間は本当に大事な時間で濃かったなと今でも思います。



奥寺さん
入社したきっかけを教えてください。

奥寺さん
大学で商業や簿記を学び、教員免許も取得しました。その知識を活かせる仕事を考え、金融機関を志望しました。



DATA

働いてる人の自宅から勤務先までの通勤時間は？

青森県 **63分**

東京都 **99分**

神奈川県 **106分**

首都圏と比べておよそ**40分短い！**

出典：総務省「令和3年社会生活基本調査」

地元企業の事業の成長を支える仕事



奥寺さん
山口さんが仕事を探すときに大切にしていたことはありますか？

「青森で働く」ことは譲れませんでしたね。



奥寺さん
入社前に準備しておいたほうが良いことはありますか？

とにかくいろんな大人と話すこと。いろんな人の考え方に触れることで、選択肢を持つことが大事だと思います。就職活動では企業のホームページや地元ニュースをよく見ることをおすすめします。



奥寺さん
現在の仕事内容を教えてください。



山口さん
企業のお客様に融資を行い、事業の成長を支える法人営業の仕事を担当しています。新しい事業の構想段階から関わり、形になったときは大きな達成感があります。



奥寺さん
やりがいを感じるのはどんなときですか？

奥寺さん
お客様の役に立っていると気付いたとき、やりがいを感じます。「山口さん」と名前前で呼んでもらえたとき、信頼していただけていると実感します。



奥寺さん
青森で暮らしていてよかったと思うことはありますか？

奥寺さん
弘前の桜やりんご畑、ねぶたなどの祭りを見て、四季を感じられることです。特に「青森ねぶた祭」には、囃子方として参加し、伝統ある祭りを支えられることに誇りを感じます。



山口さんのプライベートと仕事の様子は
こちら▶



自然あふれる青森で、仲間とデイキャンプが楽しい



奥寺さん
休日はどのように過ごしていますか？



奥寺さん
青森みちのく銀行の軟式野球部に所属しているので、シーズン中は土日の午前中に練習しています。社会人になっても本気になれる、熱中できるものがあるというのはありがたいです。



奥寺さん
野球以外での休日の過ごし方は？

奥寺さん
友人や妻と近隣のキャンプ場にデイキャンプに行ったり、一眼レフカメラを持って出かけたりしています。街から近い場所でキャンプができるのは便利です。自然が近いので趣味を楽しみやすいのが魅力です。



奥寺さん
今後の目標を教えてください。

奥寺さん
いずれは弘前の支店で働き、生まれ育った地域に金融面で恩返しをしたいです。



奥寺さん
最後に、高校生へメッセージをお願いします。

奥寺さん
高校3年間は二度と戻りません。全力で挑戦し、後悔のない時間を過ごしてください。その経験が、必ず将来の自分を支えてくれます。



インタビューを終えて… After Talk



奥寺さん
働きながら自分の趣味を楽しんでいいなと思った。営業の仕事は難しそうだけれど、「いろんな人とたくさん話した方がいい」というアドバイスをもらったので意識してやっていきたい。



株式会社青森みちのく銀行
青森中央営業部 営業第二部
山口 大成さん
弘前市出身。弘前学院聖愛高等学校を卒業後、札幌大学に進学。就職を機に2022年Uターンし、青森みちのく銀行へ入社。野球部として活動しながら、キャンプや写真撮影など趣味も満喫中。